

バーチャル背景によって WEB 会議は活性化するのか

ーテレワーク推進時代、多様な働き方への貢献ー

日時壮浩専門ゼミナール 3 部

経済学部 経営学科 4 年

兵庫美貴 守屋七海

要旨

近年、新型コロナウイルス感染症の爆発的な拡大の影響で、企業ではテレワークが急速に進展し、WEB 会議の需要が増加している。将来的にも WEB 会議を働き方に合わせて活用されると推察される。しかし、複数人で行う WEB 会議において対面で行う会議と比較すると WEB 会議においてコミュニケーションが図りにくいと感じている人が多い。

この現状を解決するために、本研究では WEB 会議の活性化の実現を目的とした研究を行った。先行研究で、メラビアンの法則から言語情報によるものよりも視覚から得る情報の方がコミュニケーションに大きな影響を与えていることが分かった。しかし、WEB 会議において視覚情報の大部分を占めるのはパソコン等の画面の背景であるが、そこに注目した研究例はない。

そこで、本研究は背景による WEB 会議の活性化に焦点を当てた。アンケートから現状多くの人々が無地の白色の画像を選択している。そこに様々な効果が研究で認められている観葉植物を加えた画像を背景にすることで相乗効果が生まれ WEB 会議が活性化すると仮説を設定して、ゼミナール生を対象に背景を変えて議論をする実験を行った。その結果、白い壁紙に観葉植物を設置した画像の背景は議題によって会議の活性化を実現できる可能性を示すことができた。

本研究の結果は、WEB 会議のコミュニケーションがとりづらく会議が停滞するという課題を解決することで WEB 上でも活発な議論へと導くことができる。そして、更なる WEB 会議の導入が進みリモートワークが急速に展開されるこの時代に適応する多様な働き方の実現に貢献するであろう。